

令和7年2月10日

運営委員会資料

教頭

R6 学校教育自己診断 結果を受けて総括

今年も、生徒・保護者・教職員それぞれにおいて学校教育自己診断を実施いたしました。数多くの貴重なご意見をありがとうございました。

個人的なご指摘以外は、全教職員にて拝見させていただきました。校内各部署にて意見交換を行い、以下のように学校として今年度の総括および次年度に向けた課題をまとめました。

なお、個別のご質問などにお答えしますとかなりのボリュームになりますので、総括では全体的な分析結果を公表させていただきます。ご了承いただきますようお願いいたします。

また、本校において学力保障と生徒指導は学校運営の大きな両輪となっています。どちらが欠けても生徒たちの成長に大きな影響を与えます。本校が今後5年10年とさらなる伝統を積み重ね進んでいくために、この2つについては、より丁寧な指導をしていくことができるよう、今後とも研鑽を積んでいきたいと思っております。

皆さまのご意見を伺い、次年度に向けての本校の課題を3つに整理してみました。

1 生徒指導の継続性と規律の徹底

*生徒からの評価は決して高くなく、意識を向上させることが必要ですが、その指導は生徒たちの「自立心」や「社会的責任感」をはぐくみ、生徒たちが自発的に守りたくなるような教育をめざす必要があります。

*保護者の皆さまからは、指導のありようについて、大声を出しての指導についての危惧などのご指摘や教員間での指導の方向に疑義があるとご指摘がありました。この点は保護者の皆さまとの連携をしっかりと進めていく必要があることを再認識させていただきました。

*一方で教職員の評価は、生徒・保護者に比べ高く、できていると評価する数も多いのですが、それが自己満足で終わっていないか、客観的に見たときに妥当なのか、常に自問自答しながら、今後も「いいものはいい」「ダメなものはダメ」と指導を進めてまいりたい。

2 保護者との連携を効率的に進めていく

*生徒指導に当たり、保護者の皆さまと担任との意思疎通が図れていないとご指摘があり、この点については、今一度学校の指導について、見直すことも必要だと考えます。

*さくら連絡網の活用について、次年度は今年以上に進めていきたいと考えています。非常時の安否確認は大切なのですが、学校と各家庭（保護者）を直接結ぶコミュニケーションツールであるこの連絡網で、もう少し配付物などの配信を行うことで、保護者の皆さまに、今学校で行われていることへの理解を深めていただくとともに、逆に保護者からの意見を気軽に出示していただけるような環境を追求していきたい。

*本校の生徒相談体制が十分に保護者の皆さまにご理解いただけていない点についても、教育相談だよりや保健だよりなどを、生徒にプリントを配付するだけでなく、さくら連絡網で配信するようにしたいと思います。

3 進路指導と生徒の自主性伸長に向けた取組の推進

*生徒の評価が高いものの、機会があるだけで、それを活かして考え自らの進路獲得に結びつけることができているか、その点についてしっかりと確認し必要な指導をしなければなりません。

*保護者の皆さまからの評価も決して高くないため、2にもあるように、連携を効率的に進めていくことで、よりご理解を深めていけるようにしていきたい。

*新学習指導要領の趣旨を踏まえ、生徒の問題解決能力をさらに高めるため、各授業の在り方を見直しているところです。個人の学力伸長のため、家庭学習の定着を図り、コミュニケーション能力を引き出していけるよう、次年度も授業改善の取り組みを進めます。